

## 令和2年度第1回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議（要旨）

- 1 日 時 令和2年11月2日（月）14：30～17：05
- 2 場 所 さぬき市役所 附属棟 多目的室
- 3 出席者 【委員】尾崎委員 大塚委員 長山委員 山崎委員 小池委員 金江委員  
岡委員  
【事務局】向井総務部長 間嶋政策課長 大山課長補佐 三宅係長
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議次第
  - 1 開会
  - 2 総務部長挨拶
  - 3 自己紹介
  - 4 議事
    - (1) 座長・副座長の選任について
    - (2) 第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況及び最終評価・検証結果について
    - (3) 地方創生推進交付金事業及び地方創生拠点整備交付金事業の効果検証について
    - (4) 今後のスケジュールについて
  - 5 閉会
- 6 配布資料 資料1：第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査結果  
資料2：第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略最終評価・検証調書  
資料3：地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金効果検証調書
- 7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞（14：30）
政策課長	ただいまから、令和2年度第1回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開会します。 私は、政策課長の間嶋と申します。当面の間、進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いたします。 開会にあたりまして、向井総務部長がごあいさつを申し上げます。
総務部長	＜総務部長あいさつ＞
政策課長	ありがとうございました。 委員就任にあたって委嘱状は、時間の関係上、事前交付させていただきましたので、

	<p>ご了承のほどよろしく願いいたします。</p> <p>さて、委員各位は初顔合わせとなりますので、簡単に自己紹介をお願いします。  なお、井出委員は、本日欠席との連絡を受けておりますことを併せてご報告します。</p>
出席者	<委員・事務局自己紹介>
政策課長	<p>次に、会議の公開についてです。</p> <p>さぬき市附属機関の委員の構成及び会議の公開に関する指針及びさぬき市情報公開条例に照らし、市の会議は原則公開となります。本会議も公開とさせていただきますのでご承諾ください。</p>
委員	<委員了承>
政策課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>なお、本日の傍聴者は1名です。会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。</p>
	<p>それでは議事に入ります。議題1「座長と副座長の選任について」です。</p> <p>有識者会議設置要綱第5条第2項の規定に座長は委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがでしょうか。</p>
委員	事務局に一任する。
政策課長	座長を長山委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	<委員了承>
政策課長	<p>それでは、長山委員に座長をお願いいたします。</p> <p>続いて、副座長の選任についてです。設置要綱第5条第4項において、座長に事故があるときは、あらかじめ座長が指名する委員がその職務を代理するとありますので、座長に副座長を指名いただきたいと思います。</p>
座長	市商工会会長、市観光協会会長、平賀源内先生顕彰会会長などとして、市の施策や地域の実情に精通しておられます尾崎委員にお願いしたいと思います。

委員	<委員了承>
政策課長	<p>それでは、尾崎委員に副座長をお願いいたします。</p> <p>座長と副座長には座席を移動していただきますので、一時休憩します。</p> <p>&lt;休憩&gt;</p>
政策課長	<p>会議を再開いたします。</p> <p>それでは、正副座長を代表して、長山座長ごあいさつをお願いします。</p>
座長	<座長あいさつ>
委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>これ以降の会議の進行につきましては、長山座長をお願いします。</p>
座長	<p>わかりました。委員の皆様よろしくをお願いいたします。</p> <p>まず、本日の会議についてですが、概ね16時30分を目途に終了したいと考えておりますのでご協力をお願いします。</p> <p>それでは、議題2「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況及び最終評価・検証結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<資料1、資料2に基づいて事務局説明>
座長	<p>事務局の説明が終わりました。</p> <p>内容が多岐にわたりますので、4つの基本目標に分けて委員から意見を求めたいと思います。</p> <p>まず、基本目標1に関連する意見がありましたらお願いしたいと思いますが、初めて参加される委員も多いですので、まずは私から発言させていただきます。</p> <p>資料1の43頁、まちづくり寄附（ふるさと納税）の推進について。</p> <p>さぬき市の寄附額は伸びつつありますが、その要因を分析できていますか。</p>

事務局	<p>実施事業者への大手ふるさと納税サイトの追加をはじめ、返礼品事業者の登録手続簡素化、返礼品の充実などが複合された結果としての寄附額増加だと分析している。なお、特異な例として、令和元年度は「シャインマスカット」がクチコミサイト等で評判を集め、結果として農産物全体の人気を底上げするという相乗効果が発生した。</p>
座長	<p>生鮮食品の場合、商品が持つブランド力や商品情報から読み取れるイメージなど、いわゆる消費者の主観的価値に訴えかけた返礼品が人気を集める傾向にあります。この発想を飛躍させると、例えばスーパーマーケットや百貨店のバイヤーなどに協力を求め、その知識や経験を返礼品づくりに生かすこともできるかもしれません。</p>
事務局	<p>今年度は「シャインマスカット」の情報掲載がほんの少し遅れた結果、本来さぬき市が得られたであろう寄附が他自治体に回ってしまった、という事案があった。令和3年度は、この経験を生かして時期を逃さない情報発信を心がける。</p>
委員	<p>生鮮系の返礼品は、天候要因など安定供給に影響を与える不確定要素も多く、返礼品事業者は苦勞していると思うが、さぬき市を代表する返礼品でもあるので、ぜひ多くの返礼品出品を期待する。</p>
座長	<p>新たに共通返礼品の取組を開始したとありますが、例えばさぬき市の特産品が高松市の返礼品として貰えたり、反対に高松市の特産品がさぬき市の返礼品として貰えたりするということで、ふるさと納税の返礼品の幅を広める面白い取組だと感じました。今後も同様の取組が継続されることを期待します。</p>
委員	<p>資料1の23頁、地域産業を支える若手経営者や技術者などの育成支援について。さぬき市商工会などの関係機関との連携は十分に行えているのか。</p>
事務局	<p>さぬき市とさぬき市商工会、地元金融機関などが連携して、創業に向けた計画策定支援などに取組んでいる。</p>
委員	<p>さぬき市商工会の会員は創業支援の取組自体は認知しているが、その取組に対してさぬき市が関与していることを知っている者はほとんどいない。行政が関与している事実を認知してもらう必要もあるのではないか。</p>
事務局	<p>「誰が支援しているか」よりも「支援の取組があること」が重要であると考えている。企業支援は、商工団体や金融機関の支援なくして成り立たない取組であるため、今後</p>

	<p>も関係機関の得意分野を生かしながら継続的な支援の展開を目指す。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1の13頁、遊休農地の新たな活用への挑戦について。</p> <p>先ほどのふるさと納税でも委員から関連する発言があったが、農林水産業では天候要因をはじめ、栽培ノウハウの習得や販売ルートの開拓など、数多くのハードルを乗り越えることが求められるため、座長から発言のあったとおり、民間部門や専門家の知恵を生かす視点が欠かせない。</p> <p>この総合戦略全体を通して言えることだが、今後のさぬき市に求められるのは、市民が何か新たな挑戦に取り組む際のボトルネックとなり得る課題をあらかじめ明示できる程度まで本気で課題に向き合うことだろう。結果的には、それが挑戦者に寄り添った支援の実現、そして、意欲的にチャレンジする市民の増加につながるのではないかと感じる。</p>
<p>座長</p>	<p>委員の発言に関連したふるさと納税の話題として、ふるさと納税がうまくいっている自治体は、ニッチな地場産品を工夫して返礼品へと昇華させている印象があります。</p> <p>例えば、将棋盤や駒の生産で有名な山形県天童市は、将棋盤セットを高額返礼品として取り上げるだけでなく、市担当者が生産事業者と直談判して、自分の好きな駒を名前入りキーホルダーに加工する返礼品を準備していますが、これは将棋ファンにとって魅力ある返礼品として人気を集めていると聞いています。</p> <p>これは天童市の一例ですが、さぬき市内にも磨けば光るネタが必ずあるはずです。さぬき市の職員の皆さんにも、地域の中にある商品を魅力ある返礼品に磨き上げる努力を期待します。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1の39頁、さぬき市の魅力発信の強化について。</p> <p>最近デジタル化の推進が注目を集めているが、行政分野では「シニア世代が対応できないため」といった理由でアナログ的手法を継続されているケースが多い印象がある。果たして、この選択はシニア世代に寄り添った正しい選択と言えるのか。</p> <p>かつて農産物といえば地産地消をキーワードに売り込みすることが多かったが、人口減少によって地域内の消費者そのものが減ったことで、地産地消では経営が成り立たない事態となっているとおり、かつて正しかった選択が永遠に正しいとは限らない。</p> <p>さぬき市の現在の総合戦略では、デジタル化の推進は直接的には謳われていないが、地域の魅力発信においてはデジタル活用へのシフトが欠かせない。</p> <p>さぬき市ファンづくりの取組には、芽が出るまで時間がかかると思うが、さぬき市が持つ価値に一人でも多くの人気づいてくれるよう根気強く続けてほしい。</p>

委員	<p>これまで行政が作ってきた各種計画は、過去の経緯や発言権のある団体の意見を中心に議論を積み重ねて策定したものが大多数で、そのほとんどがピント外れな将来展望を示す結果となっていた。</p> <p>これからの行政に求められるのは、全市民を対象とした総花的な計画策定ではなく、対象とする市民や分野を絞り込んだ実践につながる行動計画の策定である。そのためにも、この総合戦略が型を破る突破口になってほしいと願っている。</p>
座長	<p>多くのご意見ありがとうございました。</p> <p>次に、基本目標2に関連する意見がありましたらお願いしたいと思いますが、まずは私から発言させていただきます。</p> <p>資料1の47頁、若者世代の定住促進施策の拡充（三世同居等の奨励）について。さぬき市の総合戦略は全方位的な事業展開の中からキラリと光る事業を生み出す、といったスタンスで取組を進めてきましたが、限られた財源を有効活用するためにも効果検証を適切に実施し、事業効果の高い取組への選択と集中を推進すべきと感じています。</p> <p>例えば、この事業の場合であれば補助金の交付実績がKPI（重要評価指標）として設定されていましたが、果たしてこの交付実績から「成果」を読み取ることができるでしょうか。私自身、第2期総合戦略の策定に関与した過程で、総花的な設定されていたKPIの棚卸しを進め、現在の総合戦略では別のKPIを設定するなど、指標のあり方の見直しを進めましたが、まだまだ道半ばといった印象です。</p> <p>たとえ計画期間中であつたとしても、真に必要なあれば総合戦略を随時改訂できますので、事務局の意見も踏まえながらよりよい総合戦略につながればと考えています。</p>
委員	<p>移住促進の取組を推進するためには対外的な情報発信が欠かせない要素となるが、果たして現在のさぬき市は適切な情報発信に努めているのか疑問である。</p> <p>県内でも移住者が多いとされる三豊市や土庄町、小豆島町では、リアルタイムの情報発信を積極的に行っているが、その要因として、行政から依頼を受けたNPO法人が情報発信を担っている点が挙げられる。さらに、NPO法人が情報発信を担うことで発信される情報自体がフレンドリーな内容となって、さらなる情報拡散にもつながるなど、好循環が生まれている。</p> <p>SNSに代表されるインターネット上の情報発信では、思わぬ人同士のつながりから、想定もしていなかった人の元にまで情報を届けることも可能だが、少なくとも情報を必要とする人に適切な情報を届ける努力は怠らざに行ってもらいたい。これは移住情報だけの問題ではなく、行政広報全体にかかわる問題でもある。</p>

委員	<p>行政の役割の一部を民間部門に担ってもらう、といった考えをふるさと納税の分野でうまく活用した事例が、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングの取組である。いまある施策の形にこだわることなく、ぜひ発想を転換して新たな取組に挑戦してもらいたい。</p>
委員	<p>情報を届ける必要のある方が所属するコミュニティに働きかけることも効果的な情報伝達手段となり得る。</p> <p>現在、事業を経営しているが、開業当初は本当に客を呼び込むのに苦労した。その際、認知度アップに最も貢献したのは、少しでも誘客につながればと粘り強く続けたイベントへの出店であり、お得意さんが一人できると、その人が所属するコミュニティの仲間たちが次々と来店するといった体験を何度も経験した。</p>
座長	<p>委員の意見を移住者に置き換えると、不動産事業者や移住情報サイトなどに適切な情報を提供すれば高い効果が得られる、といった発想になりますね。</p> <p>必要な情報を対象者に的確に届けるために移住情報サイトにバナー掲載する事例は多くありますが、その際に求められるのは、掲載前後のアクセス数の変化、さらには広告掲載料と見合うだけの費用対効果が得られたか、といった事業検証です。</p> <p>大手移住情報サイトへの広告掲載は多額の経費が求められるでしょうから、まずはコストパフォーマンスが見込める SNS での情報発信にチャレンジするなど、できることから挑戦してはどうでしょうか。</p>
委員	<p>天気予報会社の中には、一般住民が SNS 等で発信する情報を活用して全国各地の天気状況をリアルタイムで紹介しているところもあるが、あらかじめ投稿ルールやハッシュタグを設定するなど、情報を利活用するための仕組みがしっかり組み込まれている。</p> <p>さぬき市から情報発信する際にも、地域や住民に対してこういった形で波及したかを検証できるような仕組みをあらかじめ想定して組み込んでおくことが必要である。</p>
座長	<p>多くのご意見ありがとうございました。</p> <p>次に、基本目標 3 に関連する意見がありましたらお願いしたいと思いますが、こちらまずは私から発言させていただきます。</p> <p>資料 1 の 79 頁、放課後児童クラブの拡充について。 第 1 期総合戦略でも委員から意見が出ていましたが、共働き世代への子育て支援策を</p>

委員	<p>アピールする際の一つのカギとなるのが、小学6年生までの対象学年拡充でしょう。</p> <p>私の子どもも放課後児童クラブを利用したが、共働きの母親にとっては大変助かる制度であり、かつ、子ども自身にとっても学年を超えた交流を通じた貴重な成長機会となっていた。</p> <p>私は「たとえ利用料が多少高くなったとしても、ぜひ小学5年生以降も継続利用をお願いしたい」と考えていたが、同じような思いを持つ保護者は他にもいるのではないか。</p>
座長	<p>施設の利用状況やスタッフの確保、財政負担などから総合的に判断することになるのでしょうが、子育て世帯にとってはぜひ前向きに検討してほしい案件の一つですね。</p> <p>他の委員からも意見があるかもしれませんが、終了予定時間が迫っていますので、少し駆け足で会議を進行させていただきます。</p> <p>基本目標4に関連する意見がありましたらお願いしたいと思いますが、こちらもまず私から発言させていただきます。</p> <p>資料1の99頁、周産期医療の充実について。 あわせて資料1の103頁、救急医療における提供体制の維持について。 昨年度からさぬき市民病院の産科休止がニュースの一つとなっていますが、実はもう一つ大きな課題であると感じているのが、医師不足によって救急医療の現場に外科系医師が常駐できなくなっているという現実です。</p>
事務局	<p>周産期医療の部分については助産院開設の目途が立ったことから、何とか産科を維持できる見通しとなったが、救急医療の部分については慢性的な医師不足という問題の根本解決には至っていない。</p>
座長	<p>小児医療、周産期医療、救急医療は、地域に暮らす生活者に密着した医療分野ですが、それぞれの医療に携わる医師の負担は重く、志望する学生も少ないのが実情です。全国の自治体病院が同じ悩みを抱えて苦しんでいます。さぬき市民病院の産科再開は地域にとって喜ばしいニュースと言えますね。</p>
委員	<p>基本目標4を全体的に見渡したところ、「(2) 高齢になっても安心して暮らせる地域づくり」の取組が手薄ではないかと感じる。</p> <p>私自身、いまはシニア世代には当てはまらないものの、いずれは高齢者のカテゴリー</p>

	<p>に該当することになる。それは現在の子育て世代の人たちも同様で、決して逃れることはできない事実だが、地域福祉がしっかりしていれば、医療・介護のお世話にならずとも健康な老後を送ることができる可能性が高まるはずだ。</p> <p>将来的な医療・介護費の増加を抑制するためにも、医療・介護の予防分野に力を注ぐことが求められていると感じる。</p>
座長	<p>K P I を見渡してみても、たしかにベースとなる実績値全体が低調な印象ですね。</p> <p>人口減少対策の観点から策定された総合戦略のため、どうしても子育て支援策が前面に出ていますが、委員から意見のあったとおり、市民一人ひとりのライフスタイルを見通した地域福祉のあり方について課題を整理してもよいかもしれません。</p> <p>議事2は以上とさせていただこうかと思いますが、追加の質問、意見はありますか。</p>
委員	<p>基本目標2の議論にあった企業版ふるさと納税について。</p> <p>制度の概要を確認したい。</p>
事務局	<p>総合戦略に記載する取組の応援を目的として、事業所が自治体に寄附を行った際に寄附額の最大9割について税制上の優遇措置が受けられる制度である。</p> <p>本社が所在する自治体以外への寄附が対象であり、自治体にとっては新たな財源確保として、事業所にとっては社会貢献活動の一手として役立つなど、両者にメリットのある制度であるといえる。</p>
委員	<p>寄附を行った企業が得られるメリットを明示できれば、重要性は高いものの財源確保の目途が立たずに進展していない事業も推進できるのではないかと。</p> <p>寄附を求める事業者につながるまでには大変な労力が求められるが、事業者にとっても大きなメリットがあるため、うまく活用すれば大いに効果を上げる可能性を秘めている。</p>
事務局	<p>現在、さぬき市でもPR方法を検討しているところである。</p> <p>委員から提案があれば参考にさせていただくので、ぜひ意見をお願いしたい。</p>
座長	<p>それでは、議題3「地方創生推進交付金事業及び地方創生拠点整備交付金事業の効果検証について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>&lt;資料3に基づいて事務局説明&gt;</p>

座長	事務局の説明が終わりました。 委員から意見がありましたらお願いします。
委員	拠点施設整備事業では、みろく自然公園のバーベキューテラス整備などに取組んだが、施設を整備すれば自然と観光客が集まってくるなどとはあり得ない。 民間が管理運営を行うキャンプ場では、場内の売店でバーベキュー食材を提供するなど、利用者が気軽に利用できる仕組みづくりに取組んでいるところも多い。 今後も「さぬき市における長期間滞在を推進し、地域経済の活性化へとつなげていく」という施設整備時に設定した目標やコンセプトを見失うことなく、施設利活用のあり方を探ってもらいたい。
事務局	現在、当該施設を指定管理するさぬき市S A公社は、長年にわたって津田の松原サービスエリアを管理運営した経験を有しており、民間企業に近い視点からの運営改善も可能であると考えられることから、さぬき市としても積極的な働きかけを行いたい。
座長	K P I では、特に宿泊数の落ち込みが大きいです。要因は分析できていますか。
事務局	みろく温泉・みろく荘は、関西圏からの大学合宿受入が収益の大きな柱となっており、新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが相次いだことが大きく影響したと聞いている。
座長	新型コロナウイルス感染症の影響は長期化することも予想されていますから、抜本的な経営改革に取り組む必要に迫られる可能性もありますね。  続いて、議題4「今後のスケジュールについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	<事務局説明>
座長	最後に、事務局から事務連絡がありましたらお願いします。
事務局	<事務局説明>
座長	以上で、本日の会議を終了します。ありがとうございました。  ＜ 閉 会 ＞ (17 : 05)